



2025年度の課題部会は、部会の名前が変わりまして、特別支援教育部会改め「子ども支援教育部会」です。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

今年度の部会も、前半は講演会、後半はレポート交流会となります。研究課題2年研究の1年目となります。研修を深めることの良さを実感できる研修会になることを願い、役員一同準備を進めております。

皆さん、多忙なかたと存じますが、レポート作成及び、当日の参加体制にかかわるご協力とご理解をどうぞよろしくお願いいたします。

(1) 2025年度の役員体制

部長	伊藤 千織 (向陽台中)	事務局員	川除 照之 (大麻東中)
副部長	西田 幸子 (花川南小)	事務局員	弥勒院 宜明 (西部小)
事務局長	太田 亜弥 (石狩双葉小)	研究員	中村 葉月 (中央中)
事務局次長	中川 亨子 (柏小)	研究員	野村 香菜子 (花川南小)
事務局員	宮本 優子 (恵庭小)	研究員	佐藤 真由美 (南線小)
事務局員	渡辺 晃美 (北陽小)	研究員	小森 政英 (千歳泉沢小)

(2) 研究課題

【課題部会研究主題】 ※「通常学級における」ということを意識して、研究に取り組んでください。

多岐にわたる今日的な教育課題の解明

「通常学級における児童生徒のニーズに応える教育的支援」

【3分科会テーマとそれぞれのテーマ別交流キーワード】 ※紫文字が各分科会のレポート作成のテーマとなります。

分科会	令和7年度各分科会テーマ	レポートキーワード
第1	<u>通常学級における個別</u> の児童生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>個に対する学習支援</u> ・<u>家庭での学習</u>に関する支援 ・<u>個に対する環境支援</u>(生活・身辺整理)
第2	<u>通常学級における集団</u> の中での児童生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学級内での気になる児童生徒への<u>支援方法</u> ・<u>学級集団づくり</u>の課題と方策 ・<u>保護者</u>とのつながり
第3	<u>通常学級における</u> 児童生徒を支援する連携	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>外部機関との連携</u> ・<u>校内支援体制</u>実情 ・<u>幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携</u>

(3) 講演会講師

ブロック	講師		講演会テーマ
北	木村 絵梨氏	言語聴覚士	「気になる子どもへのかかわり方のヒント」
南	小笠原 輝幸氏	スクールカウンセラー	「不登校支援について～課題をもつ児童生徒へのかかわり方」

(4) 会場校・分科会ごとの人数 ※レポート印刷の際にご確認ください。実数を記載しています。

R7年度	会場校	第一分科会	第二分科会	第三分科会
北ブロック (江別・石狩・当別・新篠津)	石狩市立 双葉小学校	42	42	54
南ブロック (千歳・恵庭・北広島)	千歳市立 北陽小学校	56	62	43

(5) 令和7年度研究協議会日程 ※皆さんの声を受け、レポート交流の時間が増えています！

13:00	13:30	13:35	14:45	15:00	16:10	16:20	16:40
受付 <30分>	説明 <5分>	講演会 <70分>	休憩・ 丁合 <15分>	レポート交流 <交流60分・発表10分>	アンケート <10分>	整理 委員会 <20分>	

(6) レポート形式について

- ・お一人一実践の提出をお願いします！
- ・共同研究の場合は、レポート交流ができる準備をしてください。
- ・9月2日(火)課題研究協議会に持参してください。
- ・印刷部数は、上記の表を参照してください。

- ① 様式は、A4です。裏表印刷も可能です。レポートの形式に合わせて作成してください。枚数に制限はありません。
- ② 各分科会部会員数分の印刷をして、2穴を左端に空けて、当日持参してください。
- ③ 活用した指導方法や参考にした書籍やホームページ等があれば、記載をお願いします。
- ④ 表や罫線を活用し、見やすく分かりやすいレポート作成にご協力ください。
- ⑤ 広く知らせたい実践例については、事務局からご連絡を差し上げることがあることをご確認ください。
- ⑥ 不明な点やお困りのことがありましたら、石狩市立双葉小学校 (Tel 0133-74-0494) 太田までご連絡ください。

☆様式は、次ページを参照ください。また、石教研のホームページの課題部会特別支援教育部会からダウンロードも可能です。

毎年、専門部会のレポートとの勘違いと、様式違いのレポートがあります。
今年度も、テーマやレポートキーワードに変更がありますので、十分注意して作成をお願いします。

レポート作成記入例
青字に部会員が記入

学校名	氏名		分科会
小学校	太田 亜弥		第1分科会
研究課題	通常学級における児童生徒のニーズに応える教育的支援		
★分科会キーワードに関連したレポートを作成してください。	第1分科会キーワード	第2分科会キーワード	第3分科会キーワード
	個別の児童生徒への支援	集団の中での児童生徒への支援	支援する連携
レポート題名	算数科・国語科において担任外ができる個別の支援について		
現状・児童実態			
<ul style="list-style-type: none"> 算数科での九九やわり算・約分について未習熟の児童が一定数、どの学年にもいる。 国語科の漢字習得についても、文字のとらえ方が独特だったり、書字に困難を抱えていたりする児童がいる。 と 			
【レポート作成の留意事項】 ☆お一人一実践の提出をお願いします！			
<p>① 共同研究の場合は、レポート交流ができる準備をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 現状・対策等を黒字の枠に合わせて、ご記入ください。青文字は例です。 ② 活用した指導方法や参考にした書籍やホームページ等もあれば、記載をお願いします。 ③ 表や罫線を活用し、見やすく分かりやすいレポート作成にご協力ください。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ 広く知らせたい実践例については、事務局からご連絡を差し上げることがあることをご了解ください。 ⑤ 様式は、A4です。裏表印刷も可能です。枚数に制限はありませんが、各分科会部会員数分の印刷をして、2穴を左端に空けて、当日持参してください。 			
授の協力を要請した。			
まとめ(実践の成果・今後の課題・展望等)			
<p>① 算数科の朝の補充学習は、継続的に行っている取り組みであり、九九等の学習からある一定期間において、未習得の児童の受け皿となり、所属学年での算数科の学習の際の下支えとなっている。家庭学習等で、苦手に取り組む様子も見られた。</p> <p>② 今後、1年生は、平仮名・片仮名の学習後に取り組み、1年生の間に完全な習得を目指す。上級学年では、漢字の苦手意識が減るように、自分に合った学習方法や自学の際のコツを短時間でも繰り返し取り組み、伝えていく時間としたので、今後の個々の意識や力の向上を見守りたい。</p>			
参考文献など			
<ul style="list-style-type: none"> ・「クラス全員が熱心に取り組む漢字指導法」-学習活動アイデア&指導技術- 土居正博著(明治図書) ・「小学生の読み書きスクリーニング検査」-発達性読み書き障害検出のために- (インテルナ出版) 			

2025年度 石教研課題部会 子ども支援教育部会レポート

学校種	学校名	氏名		分科会
研究課題	通常学級における児童生徒のニーズに応える教育的支援			
★分科会キーワードに関連したレポートを作成してください。	第1分科会キーワード	第2分科会キーワード	第3分科会キーワード	
	個別の児童生徒への支援	集団の中での児童生徒への支援	支援する連携	
レポート題名				
現状・児童実態				
実践				
まとめ(実践の成果・今後の課題・展望等)				
参考文献				